

「よむぞう」5月から再スタート!

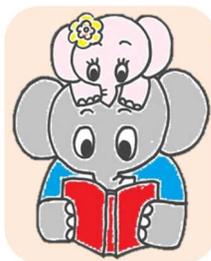
●「よむぞう」って?

昨年度以来、平城高校では、持ち寄り本棚「よむぞう」を開設しました。「よむぞう」は、身近な場所の本棚から気軽に本を手にとって読むことと、その本を通して人とつながることを目的としています。図書委員会で、「よむぞう」という名前を決め、キャラクターと本棚を作り、本も集めました。年度末以降しばらく閉鎖していましたが、整理が完了しましたので、今年度また新たに、5月1日からスタートしたいと思います。



◀ 持ち寄り本棚
「よむぞう」

よむぞう&よむたむ▼



●こんなふうに使います

- 1 校内に「よむぞう」の本棚を設置しました。①南東階段1～2階の踊り場 ②同2～3階の踊り場 ③南西階段1～2階の踊り場 ④北館2階西端 ⑤新館2階西階段上スペースの5カ所です。それぞれ「よむぞう1～5」のナンバーがついています。
- 2 「よむぞう」の本であることを示すラベルと、お薦めコメントを書き込むことのできるコメントカードが、本棚上部に置かれています。
- 3 生徒の皆さんや先生方は、自分が読んでおもしろく、他の人にも読んでほしいと思う本（教科書、雑誌、漫画、参考書、問題集などは除外します）に、用意されたラベルを貼り、自分の名前（ニックネームも可）とお薦めコメントを記入したカードを付けて本棚に置いてください。この時点で、本は寄贈したことになります。
- 4 生徒の皆さんや先生方は、興味を惹かれた本を自由に借りて読んだ後、自分のコメントをカードに記入して元の本棚に戻します。このようにして、コメントはリレー方式でつながっていきます。

コメント用紙 ▶

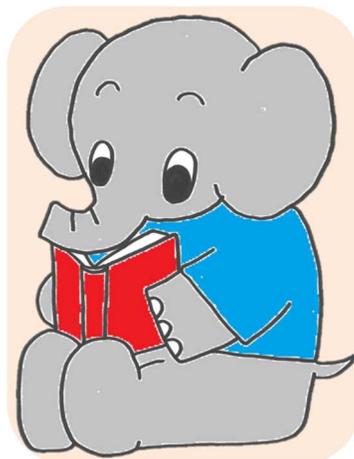


●気をつけて

ほしいこと!

「よむぞう」は学校図書館とは性格が大きく異なります。置かれる本は寄贈された本ですし、貸し出しや返却も自由、貸出期間も特に決まっているわけではありません。また、これらを厳しくチェックすることもありません。平城高校全体の善意とボランティア精神で成り立つものなのです。寄贈するというボランティア精神なしには本棚は埋まりませんし、貸し出しや返却に至っては、皆さんの良心にすべてゆだねられています。言い方を換えれば、この「よむぞう」が支障なく動くかどうかによって、皆さんの良心が試されると言っても過言ではありません。このことをよく理解し、みんなで気持ちよく使える「よむぞう」を作り上げていきましょう。

一冊一冊の本には、寄贈した人の思いが詰まっています。借りた人は、その思いをきちんと受け止め、大切に扱って本を楽しみ、元に戻してください。コメントリレーは、本への思いをつなぐ手段です。本への思いでみんながつながる平城高校をめざしたいと思います。読みたくもないのに手にとって、借りた事実さえ忘れてしまうようなことはやめましょう。「朝の読書タイム」期間中は、このような、紛失につながる借り出しを防ぐために、「よむぞう」は閉鎖します。



▲よむぞうくん

●本を寄贈してください

「よむぞう」の趣旨を理解してもらえましたか? この本棚の本は、すべて寄贈で成り立っています。現在、先生方や昨年度の図書委員の皆さんの寄贈によって、ある程度本が立ってかけられてはいますが、まだ十分ではありません。皆さんが読み終わった、面白かったけれど手放してもよい本を、ぜひ寄贈してもらえませんか。保護者の皆様からの寄贈もお待ちしています。左の要領に従って、直接本棚に置いてください。

皆さんが作り上げる、皆さんの「よむぞう」です。皆さんのあたたかさをもって、大事に育てていきましょう。本が増え、読みたい本を気軽に借りて読んでいく中で、平城高校の皆さんがつながり、あちらこちらで本の話が交わされる光景を、楽しみにしています。

今後は、地域の方々にも本の寄贈をしていただき、本棚を地域に置かせていただいて街角にも作るなど、地域と共に平城の「よむぞう」を育てる方法を模索中です。

